

さくらの里だより

栗原市若柳字川北塚原15-1
0228-32-7515



がんばれ日本

2月4日～2月22日まで行われた『ミラノ・コルティナ2026オリンピック』。日本選手の皆さんの活躍は本当に素晴らしく、感動を頂きました。時差によっては深夜から朝方にかけて試合があったので寝不足気味の方も多いのではないでしょうか？何だか心がほっこりする瞬間や、涙なしでは見られない素晴らしい演技もあり、私も勇気を頂きました。本当にありがとうございます。今度はワールドベースボールクラシック（WBC）も始まります。今から連覇を掛けた戦いが始まりますね。日本の選手の皆さん今回も私達をドキドキワクワクさせて下さい。応援しています。

「頑張れ、日本！！」

それでは今月のさくらの里の様子を紹介させていただきます。（オジマ）



ケアハウス



今年もケアハウスの入居者様と一緒に邪気を払うべく豆まき行事を行いました。お手製の豆を鬼に向かって投げ、「鬼は外、福は内」と威勢のいい掛け声で活気のあるひと時を過ごしました。

節分は「一年間健康に過ごせるように」という願いを込めて「悪いもの」を追い出す行事とされています。皆さんの勢いといったら、本当に素晴らしい物でしたね。今年も一年健康に過ごせること間違いなしです。

（オジマ）

今年の恵方は
南南東



特別養護 老人ホーム



2月は入居者様と職員で協力して節分の豆まきとがんづき作りを行いました！鬼に扮した職員がユニットを練り歩き、待ち構えていた入居者様がボールを全力投球！逃げ回る鬼の様子に皆様大笑いでした。がんづき作りでは最初は卵、次は牛乳と順番に材料を入れながら順番に混ぜ混ぜ…皆様さすがの手さばきでした。カップに生地を流し入れた後はその場で蒸し、できたてを皆で味見！その後はカップケーキ風にデコレーションしたがんづきをおやつにお出しすると「あらー、かわいい！」と歓声が上がっていました。(アベ)



ショートステイ



2月3日は節分なので節分にちなんだ鬼の面の制作を行いました！目、鼻、口、眉毛などのパーツを皆さんそれぞれ好きなように使い個性的な鬼の面を作られていました。その鬼の面に豆の代わりに紙で作った玉を投げて鬼退治をしていると、仲間をやられて怒った2体の鬼が現れ、皆さんまたその鬼に向かって玉を投げ、無事鬼退治をされました！

最後に福の神が登場し皆さん祓い棒（大幣）でお祓いをしてもらい、皆さん福の神に色々お祈りをされていました。「楽しかったね」「これで膝治るかな」などお話しされていました。

(タカハシ)





豆まき

元気に「鬼は～外！福は～内！」と掛け声に合わせて鬼を退治しました。そのあとはストラックアウトゲームにて、それぞれ目、腰、足などの鬼を倒されていました。



鬼は外!
福は内!

さくらの里カフェ (チョコレートパフェ)

2月14日 (土) にさくらの里カフェを開店しました♪ バレンタインデー当日でもありメニューはチョコレートパフェ!(^ ^)! チョコプリン、パウンドケーキ、イチゴとバナナのフルーツを添えて、「チョコたっぷりいいね」「今日来て良かった」など、とても好評であったという間に完食されていました!! (オヤマ)



今後の予定

4月 お花見ドライブとさくらの里カフェを予定しています。
お日にちは未定となっております。



栗駒山



宮城・岩手・秋田の3県にまたがる栗駒山は、円錐状の裾野をもつコニーデ型の火山です。初夏の山頂西側に残雪により馬の姿が現れることから名付けられたと言われています。施設からもその悠々とした姿が見えるため「今日は栗駒山が綺麗に見えるから、散歩がてら眺めて来ますね」と散歩をする方もおります。

「やっぱりきれいだったよ。風もなくて心地良いね」と笑顔で話して下さる入居者様もいらっしやいます。去年は雨が少なく田んぼに水も引くことが難しい年で、米の生育が心配でした。今年はどんな年になるのでしょうか？暖かくなるにつれて川原でパークゴルフをする方の姿も見ることが出来、『春はそこまで来ているんだなあ』とワクワクします。私は栗駒山の雄大な姿を見ると、以前読み聞かせで聞いた紙芝居一座の栗駒山再生をテーマにした「白い神馬」を思い出します。
(オジマ)

編集後記

冷たい寒さと、時折暖かい日が顔を出す中、さくらの里では、毎年恒例の豆まき行事が開催されました。ご利用者の皆様は、寒さなどものともせず、「鬼は外！福は一内！」と元気よく、楽しそうに豆をまいたり、鬼にぶつけ、退治していました。

まだまだ寒い日が続き、コロナやインフルエンザが流行っていますが、皆様が楽しく、明るく元気に生活できるよう、我々職員一同、頑張っています！！

(SSオヤマ)

